

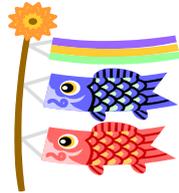


# コスモス

皐月

No. 2

【知】 進んで学びよく考える子 【徳】 明るく思いやりのある子 【体】 たくましくねばり強い子



## 朝の来ない夜はない

校長 荻野 浩

新緑が眩しい季節を迎えました。

学年園を耕していますと、土の中に居るミミズやさなぎを見つけることができ、暖かくなっていく季節の移り変わりを感じることができます。これからは、日増しに暖かさが増し、木々の緑が濃くなっていく、気持ちのよい季節となります。本来であれば、学年が始まって一月。学校生活も軌道に乗り、勉強にも運動にも力を注ぐことのできる時期です。

しかしながら、今年度は、新型コロナウイルス感染予防対策の関係で、未だ学校再開にいたらず、臨時休校も延期されることとなりました。私自身も、長い教員生活の中で、3ヶ月近く子どもたちと会わずに仕事を続けるのは、初めての経験であり、戸惑いながら毎日を過ごしています。

皆さんは、いかがですか。

子どもたちは、担任の先生から出されている課題や自主学習に、しっかり取り組んでいますか。また、家の仕事やおうちの方のお手伝いに、自分から取り組んでいますか。

お友だちと遊びたい、思い切りスポーツに打ち込みたい、ちょっとお出かけしてみたいと、外〈自宅以外〉での活動に、思いをはせている人も多いかと思えます。

しかし、今が辛抱の時です。病気にかからない、感染を広げない、臨時休校を長引かせないためにも、不要不急（理由のない外出・今出なくてもよい外出）な外出は控え、一日も早く、お友だちや先生方と一緒に勉強したり、遊んだりできるようにしていきましょう。

### 「朝の来ない夜はない。」

この言葉は、文学作品『宮本武蔵』の作家・吉川英治さんが、ご自身の少年時代を振り返った言葉です。

吉川英治さんは、お父さんの事業の失敗や病気により、小学校を中退し、家族のために小さい頃から働きに出て、お母さんと共に家を支えていたそうです。その後も、たくさん職業を転々とし、二十歳前には印刷工場で、住み込みで働いていました。そんなとき、実家のお母さんから、赤い紐で十文字に結ばれた小包が届きました。それには、栄二さんの大好きな本が、新聞紙に包まれていました。そのとき栄二さんは、この本を買うために、お母さんがどれほどの日々を費やし、送ってくれたかと思うと、涙が出てきたと言います。それ以降、小包を結んでいた「赤い紐」を自分の腰に巻き、迷ったとき、心が折れそうになったとき、「それでいいのか」「それで納得するのか」と自問自答し、正しい道に戻ることができたと言っています。

現在の状況は、まさしく暗い夜の中にいるかのようです。しかし、必ずや、朝の輝きは見えてきます。もうしばらく、みんな、感染対策の最前線で、病気と戦ってくださっている医療従事者（医師・看護師・病院や保健所、医療機関等）の方々に感謝しながら、私たちにできる STAY HOME で、頑張っていきましょう。